

屋久島初確認のアカオビハナダイ（ハタ科ハナダイ亜科） および明治時代から現在までに屋久島から確認された魚類の総種数

本村浩之¹・原崎 森²

¹ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

² 〒 891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 2473-294 屋久島ダイビングサービスもりとうみ

はじめに

2019年11月5日、第2著者によって、屋久島の一湊沖（30°27'34"N, 130°29'24"E）水深20 mの海底付近でアカオビハナダイ *Pseudanthias rubrizonatus* (Randall, 1983) が撮影された。本写真は本種の屋久島からの初めての記録となるため、ここに報告する。また、1906年（明治39年）に出版された、屋久島産魚類に関する初めての報告である Jordan and Starks (1906) から本報告に至るまでの間に出版された同島魚類の記録を整理し、時系列に概観する。

なお、本報告に用いた水中写真は、鹿児島大学総合研究博物館の画像データベース（KAUM-II: Kagoshima University Museum-Ichthyological Images）に登録されている。

アカオビハナダイの記録

撮影された写真（Fig. 1）は体側中央に前縁が白色線で縁どられる明瞭な濃赤色横帯があること、上顎から眼の直下を経て胸鰭基部に達する白色線があること、および尾鰭の両葉が伸長することからアカオビハナダイのオスと同定された。第

2著者の観察によると、本個体はケラマハナダイ *Pseudanthias hypselosoma* Bleeker, 1877, フタイロハナゴイ *Pseudanthias bicolor* (Randall, 1979), およびカシワハナダイ *Pseudanthias cooperi* (Regan, 1902) と混泳していた。アカオビハナダイのオスは同一群内に本個体のみであった。この一群はケラマハナダイが優占していたが、アカオビハナダイのメスはケラマハナダイのメスと酷似しているため、同混泳群にアカオビハナダイのメスが含まれていた可能性もある。なお、第2著者は過去15年以上に渡りほぼ毎日スキューバダイビングをしているが、アカオビハナダイのオスが確認されたのは今回のみであり、本種が屋久島で再生産している可能性は低いと思われる。

屋久島産魚類の種数

Motomura and Matsuura (2010) は明治時代から2010年3月までに報告された屋久島の魚に関する文献や4,386標本の同定結果を包括的にとりまとめ、374初記録種を含む951種を同島から報告した。その後、Motomura and Aizawa (2011) は Motomura and Matsuura (2010) が未調査だった千葉県立中央博物館所蔵の屋久島産標本を調査し、29初記録種とこれまで水中写真のみが知られていた21種を標本に基づき報告した。このうち、11種が北限記録、1種が南限記録であった。2011年にはさらにフサカサゴ科（1種）、テンジクダイ科（5種）、イソギンボ科（1種）、およびササウシノシタ科（1種）が標本に基づき新たに屋久島から記録されるとともに（松沼ほか, 2011; 大橋・本村, 2011; 吉田ほか, 2011; 村瀬ほか, 2011）、水中写真に基づきハゼ科（2種）が屋久

Motomura, H. and S. Harazaki. 2019. First record of *Pseudanthias rubrizonatus* (Serranidae: Anthiadinae) from Yakushima island in the Osumi Islands, Kagoshima, Japan, and a review of fish species numbers recorded from the island from 1906 to present. *Nature of Kagoshima* 46: 211–214.

✉ HM: The Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

Published online: 16 November 2019
http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_046/046-044.pdf



Fig. 1. Underwater photograph of a male *Pseudanthias rubrizonatus* (KAUM-II. 75, off Isso, Yaku-shima island, Osumi Islands, Kagoshima, Japan, 20 m depth, 5 Nov. 2019). Photo by S. Harazaki.

島から初めて記録された (加藤, 2011).

2012年には屋久島の魚に関する報告がなかったが、2013年にはカワアナゴ科 (4種)、ハゼ科 (62種)、およびオオメワラスボ科 (4種) が明仁ほか (2013) によって報告された。2014年にはトビウオ科 (1種) ハタ科 (1種)、およびフエダイ科 (1種) が標本に基づき同島から初めて記録された (畑・本村, 2014; 吉田・本村, 2014; 松沼・本村, 2014)。2015年にはヨウジウオ科 (1種)、メバル科 (1種)、アイナメ科 (1種)、ハタ科 (1種)、テンジクダイ科 (2種)、およびハタンポ科 (1種) が初めて報告された (本村, 2015; 田代・本村, 2015; 岩坪ほか, 2015; 吉田・本村, 2015a,b; 藤原ほか, 2015; 小枝ほか, 2015)。2016年には江口・本村 (2016) によってイトウダイ科 (1種) が新たに記録された。

2017年、新たに採集された屋久島産の544標本が調査され、フサカサゴ科 (3種)、ダルマオコゼ科 (1種)、メバル科 (1種)、コチ科 (1種)、

ハタ科 (2種)、メギス科 (1種)、ムツ科 (1種)、フエダイ科 (3種)、スズメダイ科 (1種)、およびマンジュウダイ科 (1種) が屋久島初記録として報告された (Motomura, 2017)。Motomura (2017) はここまでの屋久島における魚類相調査の歴史の経緯を詳述した。

Motomura and Harazaki (2017) は上記の記録されたすべての魚種をリストするとともに、新たな733標本と約200万枚の水中写真を調査し、129初記録種を含む1,277種を屋久島から記録した。その後、2018年にはミハラハナダイ科 (1種)、テンジクダイ科 (1種)、フエダイ科 (1種)、スズメダイ科 (2種)、およびトラギス科 (2種) が屋久島から初めて記録された (岩坪ほか, 2018; 松尾ほか, 2018; 畑・本村, 2018; Delloro and Motomura, 2018; Wibowo et al., 2018; Yoshida et al., 2018; 荒木ほか, 2018)。さらに、アゴアマダイ科のホシカゲアゴアマダイが屋久島から日本初記録として報告されるとともに (Tashiro et al.,

2018), 水中写真に基づいてイヤゴハタとカケハシハタの交雑個体が報告された(中村ほか, 2018).

2019年にはウツボ科(1種), ハタ科(1種), およびテンジクダイ科(1種)が日本初記録種として屋久島から報告され(和田・本村, 2019; 川路ほか, 2019; Yoshida et al., 2019), さらにトビウオ科(1種)とアナゴ科(1種)がそれぞれ標本と水中写真によって屋久島から初めて記録された(萬代ほか, 2019; 渋谷ほか, 2019).

最後に, 本研究によってアカオビハナダイが屋久島の魚類相に追加され, 2019年11月現在, 屋久島から記録された魚類は計1,291種となった.

■ 謝辞

本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた. 本研究の一部はJSPS科研費(19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS研究拠点形成事業-Bアジア・アフリカ学術基盤形成型, 国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域研究環境(生物多様性・島嶼プロジェクト)学長裁量経費の援助を受けた.

■ 引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. Pp. 1347-1608, 2109-2211. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 荒木萌里・高久 至・本村浩之. 2018. 屋久島におけるトラギス属魚類2種の記録. *Nature of Kagoshima*, 45: 83-87.
- 萬代あゆみ・小西祐伸・田中啓介・本村浩之. 2019. 屋久島初記録のトビウオ科魚類アカトビ. *Nature of Kagoshima*, 45: 147-150.
- Delloro, E. S. Jr. and H. Motomura. 2018. First records of *Giganthias immaculatus* (Perciformes: Giganthiidae) from the Osumi and Tokara islands, Kagoshima Prefecture, Japan, with notes on sexual dimorphism. *Nature of Kagoshima*, 45: 21-25.
- 江口慶輔・本村浩之. 2016. 琉球列島におけるイトウダイ科魚類相. *Nature of Kagoshima*, 42: 57-112.
- 藤原恭司・高山真由美・桜井 雄・本村浩之. 2015. 日本におけるハタ科魚類キテンハタ *Epinephelus bleekeri* の記録と分布状況. *タクサ*, 39: 40-46.
- 畑 晴陵・本村浩之. 2014. 鹿児島県本土から得られたトビウオ科チャバネトビウオ *Cypselurus spilonotopterus* の記録. *Nature of Kagoshima*, 40: 25-28.
- 畑 晴陵・本村浩之. 2018. 屋久島初記録のナガサキフエダイ. *Nature of Kagoshima*, 44: 341-345.
- 岩坪洸樹・原崎 森・本村浩之. 2018. タンボボスズメダイの水中写真に基づく屋久島からの記録. *Nature of Kagoshima*, 44: 221-223.
- 岩坪洸樹・山口 実・畑 晴陵・本村浩之. 2015. 屋久島から得られたウスメバル *Sebastes thompsoni* の南限記録. *Nature of Kagoshima*, 41: 41-45.
- Jordan, D. S. and E. C. Starks. 1906. List of fishes collected on Tanega and Yaku, offshore islands of southern Japan, by Robert Van Vleck Anderson, with descriptions of seven new species. *Proceedings of the United States National Museum*, 30 (1462): 695-706.
- 加藤昌一. 2011. ネイチャーウォッチングガイドブック. 海水魚〜一目で特徴が分かる図解付き〜. 誠文堂新光社, 東京. 304 pp.
- 川路由人・瀬能 宏・武藤望生・本村浩之. 2019. ハタ科イブハナダイ属魚類 *Plectranthias longimanus* ムラモミジハナダイ(新称), *P. nanus* チビハナダイ, および *P. winniensis* デイゴハナダイ(新称)の日本における記録と分類学的再検討. *魚類学雑誌*, doi: 10.11369/jji.19-004.
- 小枝圭太・籾木鉦一・本村浩之. 2015. 薩南諸島広域から得られたハタンボ科ユメハタンボ *Pempheris oualensis* の記録. *日本生物地理学会会報*, 70: 275-282.
- 松沼瑞樹・藍澤正宏・桜井 雄・本村浩之. 2011. ミズヒキミノカサゴ *Pterois mombasae* (フサカサゴ科)の屋久島からの記録および国内におけるミズヒキミノカサゴとネットイミノカサゴ *P. antennata* の分布状況. *Nature of Kagoshima*, 37: 3-8.
- 松沼瑞樹・本村浩之. 2014 (Aug.). フエダイ科ハスジマタルミ *Lutjanus dodecacanthoides* の鹿児島県大隅諸島からの記録. *タクサ*, 37: 14-20.
- 松尾 怜・松沼瑞樹・本村浩之・木村清志. 2018. トラギス科魚類ヤマユリトラギス(新称) *Parapercis kentingensis* の日本における記録. *魚類学雑誌*, doi: 10.11369/jji.17-036.
- 本村浩之. 2015. 琉球列島の魚類多様性. Pp. 56-63. 日本生態学会(編), 南西諸島の生物多様性, その成立と保全. エコロジー講座8. 南方新社, 鹿児島.
- Motomura, H. 2017. Review of the ichthyofauna of Yaku-shima island in the Osumi Islands, southern Japan, with 15 new records of marine fishes. Pp. 74-80. In Kawai, K., R. Terada and S. Kuwamura (eds.) *The Osumi Islands: Culture, Society, Industry and Nature*. Hokuto Shobou, Kyoto.
- Motomura, H. and M. Aizawa. 2011. Illustrated list of additions to the ichthyofauna of Yaku-shima Island, Kagoshima Prefecture, southern Japan: 50 new records from the island. *Check List*, 7 (4): 448-457.
- Motomura, H. and S. Harazaki. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 9: 1-183.

- Motomura, H. and K. Matsuura (eds.). 2010. Fishes of Yakushima Island – A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan. National Museum of Nature and Science, Tokyo. viii + 264 pp., 704 figs.
- 村瀬敦宣・原崎 森・目黒昌利・本村浩之. 2011. 屋久島を分布北限とするイソギンポ科魚類3種の記載と生息状況. 生物地理学会会報, 66: 61–73.
- 中村潤平・高久 至・畑 晴陵・本村浩之. 2018. 屋久島で撮影されたイヤゴハタとカケハシハタの交雑個体. Nature of Kagoshima, 45: 79–81.
- 大橋祐太・本村浩之. 2011. 大隅諸島以北の鹿児島県におけるカレイ目魚類相. Nature of Kagoshima, 37: 71–118.
- 渋谷駿太・高久 至・日比野友亮・本村浩之. 2019. 水中写真に基づく屋久島初記録のキリアナゴ. Nature of Kagoshima, 46: 207–209.
- 田代郷国・本村浩之. 2015. 屋久島から得られたヨウジウオ科魚類ヒメトゲウミヤッコ *Halicampus spirostris* の記録. Nature of Kagoshima, 41: 37–39.
- Tashiro, S., D. Uyeno and H. Motomura. 2018. First Japanese records of the jawfish *Opistognathus solorensis* (Actinopterygii: Perciformes: Opistognathidae) from the Osumi Islands. Species Diversity, 23: 233–237.
- 和田英敏・本村浩之. 2019. モヨウキカイウツボの奄美群島からの初めての記録, 本種の国内における分布記録の再検討, および水中写真に基づく *Uropterygius* cf. *polyspilus* の記録. Nature of Kagoshima, 45: 385–390.
- Wibowo, K., S. Harazaki, K. Koeda and H. Motomura. 2018. Variations in caudal-fin base spots in *Abudefduf caudobimaculatus* (Perciformes: Pomacentridae) and notes on distribution range extensions. Biogeography, 20: 1–5.
- 吉田朋弘・藍澤正宏・本村浩之. 2011. テンジクダイ科魚類7種の屋久島における初記録. Nature of Kagoshima, 37: 119–125.
- Yoshida, T., S. Harazaki and H. Motomura. 2019. Yellow-lined Cardinalfish *Ostorhinchus chrysotaenia* (Perciformes: Apogonidae) from Yaku Island, Osumi Islands; first specimen-based Japanese records, with an assessment of the holotype of the species. Species Diversity, 24: 189–193.
- Yoshida, T., K. Mabuchi and H. Motomura. 2018. *Rhabdamia novaluna*, a new species of cardinalfish (Perciformes: Apogonidae) from the western Pacific Ocean, with comments on the synonymy of *Rhabdamia gracilis*. Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-018-0664-1.
- 吉田朋弘・本村浩之. 2014. 屋久島から得られたハタ科魚類ヤマトゲメギス *Aporops bilinearis* の分類学的再検討. Nature of Kagoshima, 40: 35–41.
- 吉田朋弘・本村浩之. 2015a. 屋久島で採集された3種のテンジクダイ科魚類. Nature of Kagoshima, 41: 57–60.
- 吉田朋弘・本村浩之. 2015b. 鹿児島県から得られた日本初記録のテンジクダイ科魚類コンゴウテンジクダイ (新称) *Ostorhinchus fleurieui*. タクサ, 39: 17–24.